

もっと楽しく、魅力的な公園にしていましょ

禁止だらけの公園からみんなが思い思いに使える公園へ



神田児童公園で花火

錦華公園で水遊び



ここにきたらニコツとする、ホツとする、そんな公園へ

遊び、学びを通じて健やかに育つ



外濠公園でボール遊び

千代田の歴史を継承し 次世代を育む 居心地よいコモンスペースを目指して

千代田区は、政治・経済・文化の中心として、国内外から多くの人々が集まり、住む・働く・遊ぶなど交流の場として発展を遂げてまいりました。そして公園は土地利用が極めて高度になされている都心にあり、狭小でビルに囲まれている、江戸城外堀跡のような文化財の区域にあるなどの特徴があります。都心回帰志向による人口増を踏まえ、地形を活かした遊具の導入やプレイリーダー配置によるこどもの遊びの支援、こどもが利用する場を禁煙とする喫煙対策の拡充、雨水や井戸水活用による災害対策などを推進してまいりましたが、未だ区民人口は増加しており、多様なニーズが顕在化しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の経験を踏まえ、人々のふれあいや地域のコミュニティづくりのためには、公園など公共空間の活用が重要であることを再認識しました。毎年実施している区民世論調査でも、「整備・充実すべき施設」として「公園・児童遊園・広場」を選んだ方が多いことから、公園整備に対する期待が非常に高いと言えます。

こうした中、公園づくりに知見をお持ちの有識者による検討会で議論を深めつつ、約1万人の方々へのアンケートやヒアリング調査を実施するとともに、オープンハウスでも多くの方々に参画いただくなど、区民の皆様と一緒に「千代田区公園づくり基本方針」を約20年ぶりに改定いたしました。

この方針では、「千代田の歴史を継承し 次世代を育む 居心地よいコモンスペースを目指して」という基本理念を掲げるとともに、千代田区の公園がすべての人にとって、身近で安心できる場所になってほしいという願いを込めております。

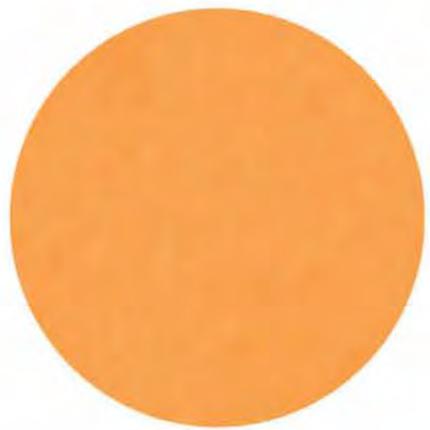
そして、手持ち花火ができる公園など特定の利用者を対象とした具体的なニーズに応えることも、区民の満足度向上に繋がると考え、柔軟な活用方法を検討してまいります。

そのためには、大前提として、公園を利用する人自身がルールを守り、他の人を尊重し思いやる「規範意識」が大切です。

区民の皆様と手を携え、新たな公園づくりを進めていくことにより、一人ひとりの心の中にある公園のイメージが変化し、持続的に発展する都市へ繋がるよう取り組んでまいります。



千代田区長 樋口高顕



目次

chapter

1	第1章 千代田区公園づくり基本方針について	01
	1. 方針の背景と目的	03
	2. 方針の対象	03
	3. 方針の位置付け	05
	4. これまでの公園を取り巻く環境の変化	06
	5. これからの公園行政が目指す方向性	06
	6. 目標水準	06

chapter

2	第2章 公園の現状	09
	1. 人口の増加と公園面積の関係	11
	2. 緑の状況	12
	3. 公園の整備状況	13
	4. 公園施設の整備状況	16
	5. 公園の機能	19
	6. 公園の利用状況	22
	7. 地域ごとの特徴	29
	8. 公園をより良くするための4つの視点	30

chapter

3	第3章 公園づくりのビジョン	33
	1. 基本的な考え方	35
	2. 地域ごとの公園づくりの考え方	36
	3. 基本理念	37
	4. 方針と施策	38
	5. 未来の公園シーン	47

chapter

4	第4章 公園づくりの進め方	49
	1. 計画の実現に向けた手法について	51
	2. これまでの取組み(ハード面、ソフト面)	53
	3. 今後の取組み(ハード面、ソフト面)	58
	4. 他事業・他区との連携	63
	5. プロセスと進行管理	66
	6. 公園施策の深化に向けて	67

巻末資料	71
------	----

用語解説	71
------	----

アンケート調査結果(一部抜粋)	73
-----------------	----



BASIC POLICY FOR CHIYODA CITY PARK DEVELOPMENT



chapter

1

第1章

千代田区公園づくり 基本方針について

1. 方針の背景と目的
2. 方針の対象
3. 方針の位置付け
4. これまでの公園を取り巻く環境の変化
5. これからの公園行政が目指す方向性
6. 目標水準

1 千代田区公園づくり基本方針について

1. 方針の背景と目的

公園は、誰もが憩える空間であり、安心して過ごせる場です。また、都市部にとって貴重なうるおいのある緑の景観、多様な生き物の生息空間を創出するとともに、災害時の避難場所、都市気象の緩和、雨水の貯留浸透、地域コミュニティの醸成など、様々な役割を果たす重要な都市インフラです。これらのことを念頭に置き、千代田区では、平成19(2007)年5月に『千代田区公園・児童遊園等整備方針』(以下、「整備方針」という。)を策定しました。

整備方針により着実に公園整備を進め、現在58箇所の都市公園・児童遊園・広場が整備され、多くの方が利用しています。

一方で、整備方針の策定後約20年が経過し、都市部の人口回復や機能更新による土地利用の変化など、公園を取り巻く環境は大きく変化しています。そこで、これらの変化を的確に捉え都市にうるおいをもたらす公園の魅力を最大限に引き出すことを目的とし、整備及び管理に関する方向性を示す『千代田区公園づくり基本方針』(以下、「本方針」という。)として名称を改め、内容を改定します。

【方針期間】

本方針は、令和7(2025)年から、概ね20年後を展望するものとします。

2. 方針の対象

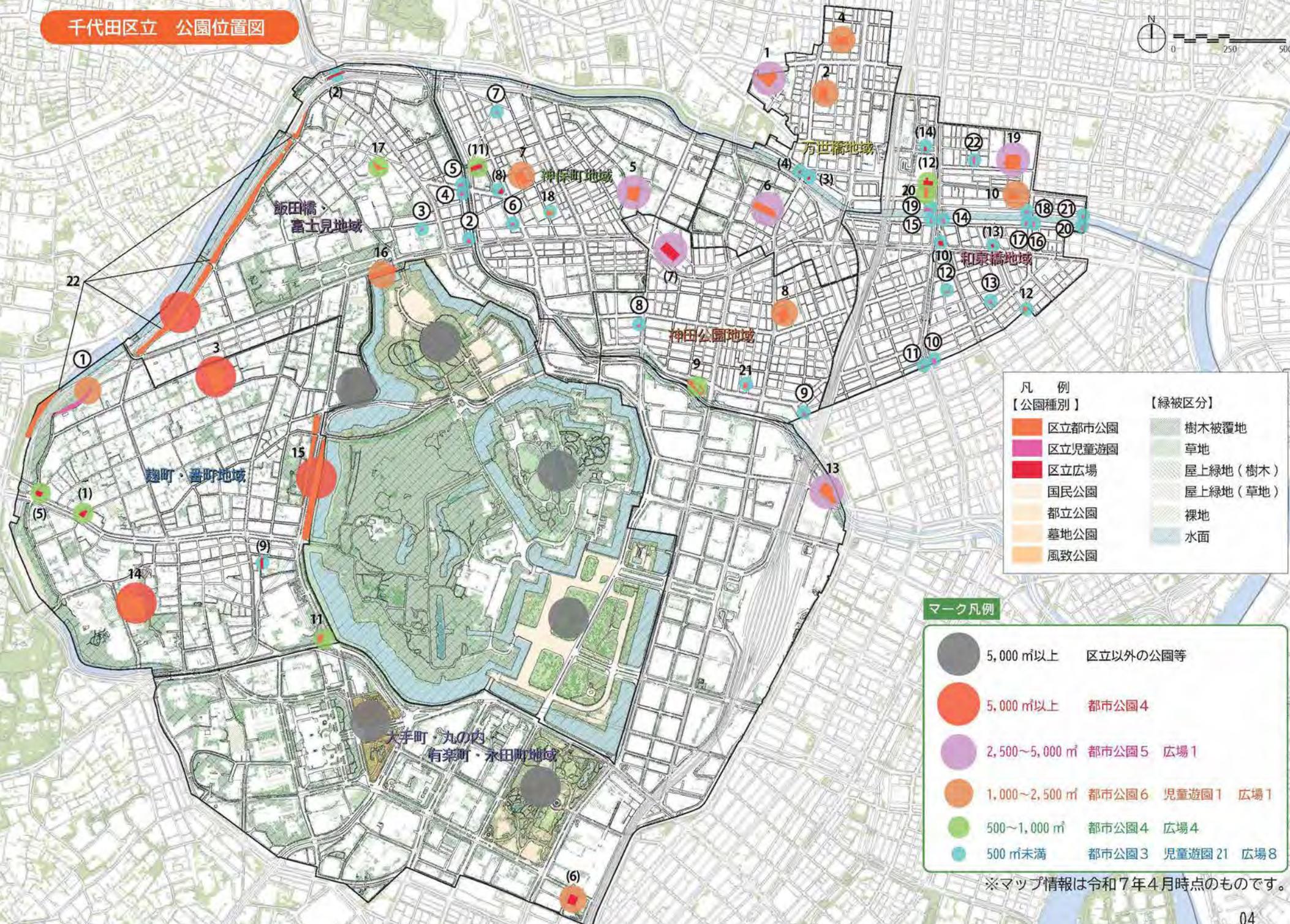
本方針は、千代田区管理の都市公園・児童遊園・広場(以下、「公園」という。)を対象とします。現在は、次のページのとおり58 箇所の公園があります。なお、東京都が管理する「日比谷公園」や環境省が管理する「北の丸公園」、「皇居外苑」、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」、衆議院が管理する「国会前庭」、宮内庁が管理する「皇居東御苑」は、本方針に含んでいません。

番号	公園名	所在地	面積 (㎡)
	区立都市公園		
1	宮本公園	外神田二丁目16番9号	3,312.39
2	芳林公園	外神田三丁目5番18号	1,996.12
3	東郷元帥記念公園	三番町18番地	7,119.43
4	緑成公園	外神田六丁目11番19号	1,993.38
5	錦華公園	神田猿樂町一丁目1番2号	2,758.97
6	淡路公園	神田淡路町二丁目29番	3,000.07
7	西神田公園	西神田二丁目3番11号	2,084.42
8	神田児童公園	神田御町二丁目2番地	2,179.37
9	神田城公園	神田御町一丁目29番地	869.68
10	佐久間公園	神田佐久間町三丁目21番地	1,050.81
11	三宅坂小公園	鞆町4番3号	802.41
12	龍岡児童公園	岩本町二丁目14番1号	761.61
13	常盤橋公園	大手町二丁目7番2号	2,596.00
14	清水谷公園	紀尾井町2番1号	10,701.17
15	千鳥ヶ淵公園	麩町一丁目2番地、一番町2番地	15,845.60
16	九段坂公園	九段南二丁目2番18号	2,043.71
19	富士見児童公園	富士見一丁目1番16号	623.72
18	神保町安全公園	神田神保町二丁目20番地3	400.00
19	和泉公園	神田和泉町1番地300	4,607.71
20	秋葉原公園	神田佐久間町一丁目18番地	704.99
21	内神田尾崎公園	内神田一丁目5番14号	386.76
22	外濠公園	富士見二丁目、九段北四丁目五番町	40,819.94
	計22カ所		106,158.21

番号	公園名	所在地	面積 (㎡)
	区立児童遊園		
1	五番町児童遊園	五番町12番地先	2,271.00
2	旭橋児童遊園	九段北一丁目1番1号	252.33
3	中坂児童遊園	九段北一丁目13番1号	87.92
4	豊橋南児童遊園	九段北一丁目6番9号	195.00
5	豊橋北児童遊園	飯田境二丁目1番1号	189.00
6	神三児童遊園	神田神保町三丁目10番地	188.42
7	三崎町児童遊園	神田三崎町二丁目12番12号	73.17
8	錦三児童遊園	神田御町三丁目3番地	124.00
9	錦倉児童遊園	内神田三丁目1番2号	89.00
10	地蔵橋東児童遊園	岩本町一丁目1番1号	307.00
11	地蔵橋西児童遊園	神田美倉町10番地	67.00
12	お玉の池児童遊園	岩本町二丁目5番1号	158.67
13	岩本町二丁目児童遊園	岩本町二丁目18番6号	205.82
14	和泉橋南児童遊園	岩本町三丁目11番16号	197.61
15	和泉橋西児童遊園	神田岩本町15番地	92.79
16	美倉橋東児童遊園	東神田二丁目8番16号	163.00
17	美倉橋西児童遊園	東神田二丁目1番1号	183.00
18	美倉橋北児童遊園	神田佐久間町92番地先	96.00
19	佐久間児童遊園	神田佐久間町一丁目11番地	357.86
20	左衛門橋南児童遊園	東神田二丁目8番1号	108.00
21	左衛門橋北児童遊園	東神田三丁目1番17号	79.00
22	いすのみ児童遊園	神田和泉町1番地	352.79
	計22カ所		5,838.38
	区立広場		
1	麩町こどもの広場	麩町六丁目2番地先	571.00
2	飯田橋こどもの広場	飯田橋三丁目12番3号	244.00
3	昌平橋東橋詰広場	外神田一丁目1番1号	85.95
4	昌平橋西橋詰広場	外神田二丁目17番	67.71
5	四ツ谷駅前広場	麩町六丁目6番地先	658.80
6	内幸町広場	内幸町一丁目5番1号	1,357.28
7	小川広場	神田小川町三丁目6番地	3,179.63
8	西神田千やきの広場	西神田三丁目36番地	342.39
9	鞆町広場	鞆町1番地	395.24
10	岩本町馬の水炊広場	岩本町三丁目10番先	379.45
11	西神田西橋の広場	西神田三丁目39番2	808.87
12	秋葉原駅東口広場	神田佐久間町一丁目22番地先	779.86
13	大和橋広場	岩本町三丁目6番地先	137.54
14	秋葉原中央寺和広場	神田松永町200番地	191.43
	計14カ所		9,199.15

表 千代田区立公園等一覧

千代田区立 公園位置図



凡例	
【公園種別】	【緑被区分】
区立都市公園	樹木被覆地
区立児童遊園	草地
区立広場	屋上緑地(樹木)
国民公園	屋上緑地(草地)
都立公園	裸地
墓地公園	水面
風致公園	

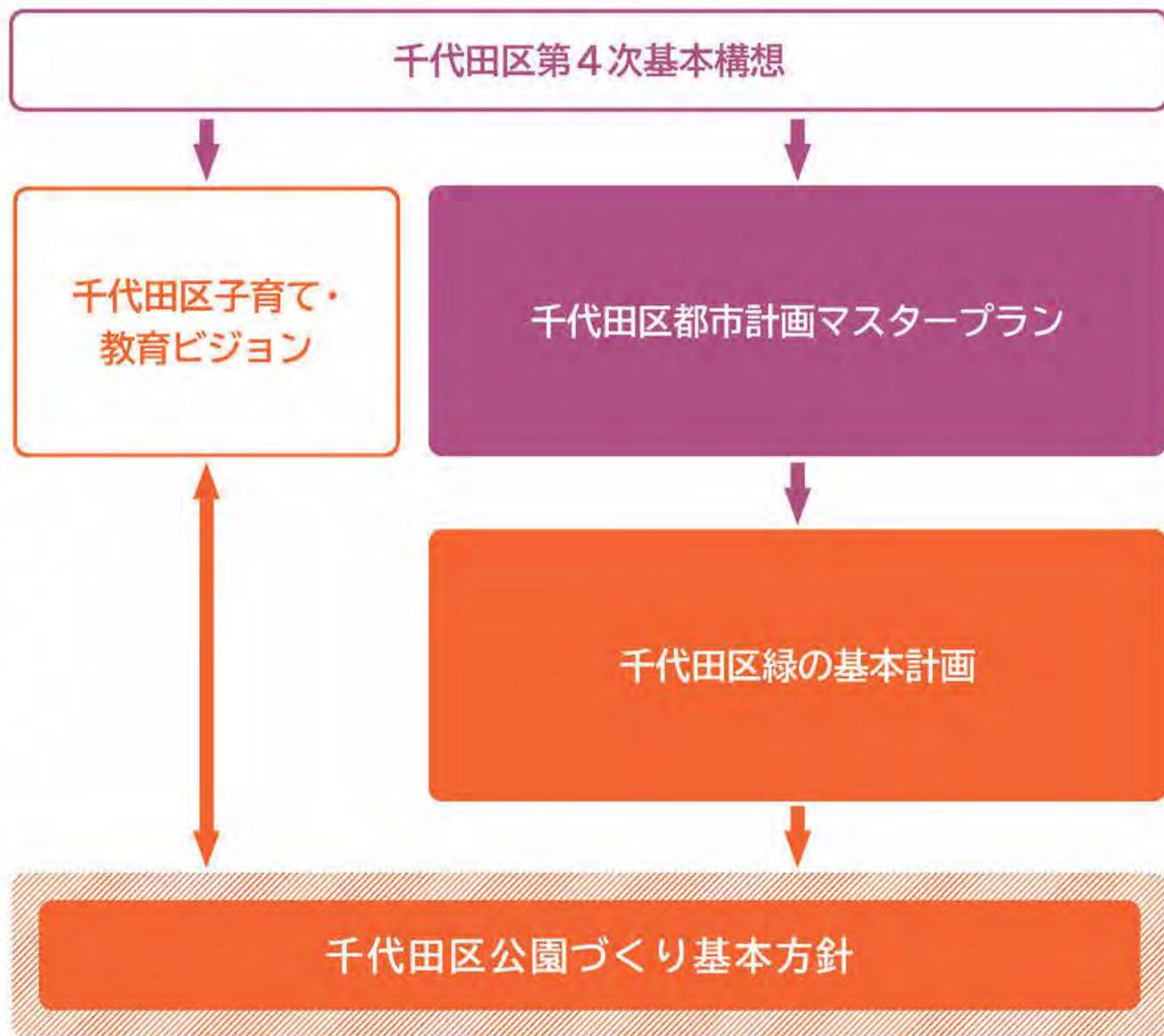
マーク凡例	
● (Grey)	5,000 m ² 以上 区立以外の公園等
● (Red)	5,000 m ² 以上 都市公園4
● (Purple)	2,500~5,000 m ² 都市公園5 広場1
● (Orange)	1,000~2,500 m ² 都市公園6 児童遊園1 広場1
● (Green)	500~1,000 m ² 都市公園4 広場4
● (Cyan)	500 m ² 未満 都市公園3 児童遊園21 広場8

※マップ情報は令和7年4月時点のものです。

3. 方針の位置付け

千代田区では、「千代田区第4次基本構想」、「千代田区都市計画マスタープラン」を上位計画とし、都市緑地法に基づく「千代田区緑の基本計画」を策定しています。これらの実現に寄与すべく、本方針を「千代田区緑の基本計画」の一部として位置付けます。

千代田区の子育て・教育分野における目指すべき基本的方向性を示す「千代田区子育て・教育ビジョン」では、「安全で安心な居場所づくり」を掲げており、子どもたちがのびのびと安全に外遊びができる居場所を整備していくこととしています。このことを踏まえ、子育て・教育分野との連携を図りながら、公園の整備を行います。



体系図（本方針と上位関連計画との関係）

4. これまでの公園を取り巻く環境の変化

区民人口は平成7年まで減少傾向でしたが、以降は回復傾向となりました。また、様々な都市機能の更新によって、公園を取り巻く環境は大きく変化しています。

これまで、「千代田区次世代育成支援行動計画(平成17年度)」において、安心して子育てできるまちづくりを達成する具体的な事業として、「公園・児童遊園の整備」を挙げ、「千代田区公園・児童遊園等整備方針(平成19年度)」を基に整備を進めてきました。

平成25年には、将来を担う子ども達が、外遊びを通して健やかにたくましく育つことのできる社会を築くために、「千代田区子どもの遊び場に関する基本条例」が制定されました。

現在、公園は地域住民や、特に子ども達にとっての重要な利用の場となっており、都市化のさらなる進展を受け、その役割はこれまで以上に大きなものとなっています。

このように、公園は時代の変遷とともにその役割も変化し続け、今後も地域の人々にとって大切な場所であり続けます。

5. これからの公園行政が目指す方向性

公園の改修や維持管理に際してはこれまでも、地域の方々との話し合いや意見交換を行いながら努めてまいりました。こうした取り組みは、地域の皆様や公園を利用する方々からの評価を得るため、さらに進めていく必要があるものと考えます。

これからは、公園の「質」(QOL)の向上を目指し、千代田区で暮らす人、働く人、訪れる人など、千代田区に関わる多様な主体と協働し、区民とともに手を携えて、公園をより魅力的な場所につくり育てていきます。

6. 目標水準

■区民世論調査における公園・遊び場の評価で「良い」と評価した人

現況値	5年後	10年後
35.7%	60%	80%

コラム SDGs との関連・・・

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略で、地球や人々の問題を解決するための国際的な目標です。貧困の解消や、健康と教育の向上、自然との共存などを目指しています。

公園の役割

自然を大切にし、みんなが楽しく過ごせる場所

健康に良い遊び場

学ぶこともできる場所

公園を通じて、SDGsの大切さを伝えることができます。



コラム カーボン・オフセット事業の取組み・・・

2022年にリニューアルした東郷元帥記念公園のウッドデッキには、岐阜県高山市の杉材を活用しています。

低炭素社会の実現を目指し、地方都市との連携によるカーボン・オフセット事業に取り組んでいます。

カーボン・オフセットとは、自分でどうしても削減できない温室効果ガス排出量を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。

～整備にこめるみんなの思い～

ウッドデッキで使われている木材の裏側には、地域の方々や子ども達の思い思いの絵や言葉が描かれています。



下段広場のウッドデッキ



CURRENT SITUATION OF PARK



第2章 公園の現状

1. 人口の増加と公園面積の関係
2. 緑の状況
3. 公園の整備状況
4. 公園施設の整備状況
5. 公園の機能
6. 公園の利用状況
7. 地域ごとの特徴
8. 公園をより良くするための4つの視点

chapter

2

1. 人口の増加と公園面積の関係

【人口増加】

- 千代田区の人口は、現行の整備方針が策定された平成19年は44,954人であったのに対し、令和6年時点では68,755人に達しており、約1.5倍の増加となっています。
- 千代田区の特徴的な要素は、昼間人口の多さであり、令和2年度の国勢調査結果では、昼間人口は116万9千人※にのぼります。このため、区民だけでなく、区外からの来街者の公園利用についても考慮する必要があります。(※昼間人口の数値は、国が公表した不詳補完値による。)

【一人あたりの公園面積の減少】

千代田区の公園の面積(都立日比谷公園161,636.66㎡含む)を区民人口で割ると4.11㎡/人(令和6年時点)になります。

都市部である千代田区では、用地確保の課題があり公園面積を増やすことは難しく、人口が増えると、一人あたりの公園面積が減少するという関係にあるため、道路や公開空地など公共的空間を公園のように使えるようにするといった取り組みが必要です。



図 千代田区人口及び区民一人あたりの公園敷地面積 ※広場含む
(出典：住民基本台帳登録人口(各年1月1日時点))

2. 緑の状況

千代田区の緑をみると、江戸城は皇居に受け継がれ、区の中央に位置する皇居や北の丸地区を中心とした区内最大の緑地があります。また、日比谷公園、国会議事堂前庭などにまとまった緑が分布しています。緑は生物多様性の保全、ヒートアイランド現象の緩和、雨水の浸透、美しい景観の形成など多様な機能を担っています。したがって緑と都市の調和が重要です。そこで、公園づくりにおいても、周辺の緑地を含めて緑のネットワークの形成に寄与していくことが必要です。

<p>特徴1 緑の分布が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 麹町・番町地域 ○ 飯田橋・富士見地域
<p>特徴2 緑の分布が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神保町地域 ○ 万世橋地域 ○ 神田公園地域 ○ 和泉橋地域
<p>特徴3 緑が点在</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大手町・丸の内・有楽町・永田町地域



図 緑被区分図 (出典:千代田区緑の基本計画 令和3年7月)
※マップ情報は令和7年4月時点のものです。

3. 公園の整備状況

(1) 公園の面積と公園施設の設置位置

公園は、現在58箇所であり、約12haの面積となっています。

このうち500㎡未満の公園は、32箇所であり、約半数が小規模公園です。

小規模公園には、遊具が少なく、ベンチと植栽が多くなっています。

また、「子どもの遊び場事業」として「ボール遊び」や「道具遊び」にも取り組んでいます。

次のページに、公園などでできることをまとめた「できることマップ」を示します。すべり台・ブランコなどの遊具の配置やドッグラン、子どもの遊び場事業の実施状況を表しています。

種別	公園数	面積(㎡)
500㎡未満	32	6,459.46
500~1,000㎡未満	8	5,819.33
1,000~2,500㎡未満	8	14,976.09
2,500~5,000㎡未満	6	19,454.72
5,000㎡以上	4	74,486.14
合計	58	121,195.74

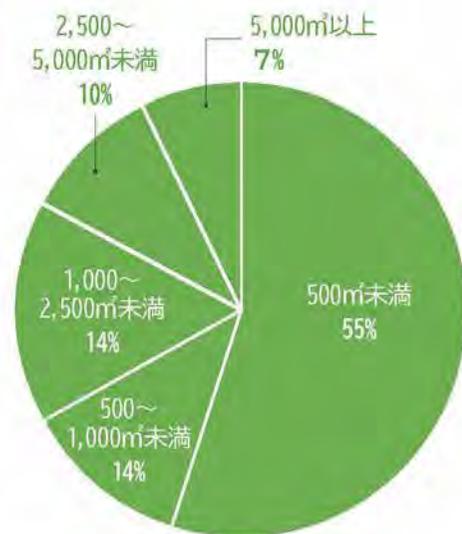


表 公園の面積

子どもの遊び場事業 実施場所

外濠公園、和泉公園、芳林公園、神田児童公園、小川広場、旧今川中学校、旧永田町小学校、東京中華学校、飯田橋三丁目広場、富士見二丁目広場、ふじみこどもひろば(乳幼児広場)、旧九段中学校校庭・体育館

その他の広場 | Dog Garden ~飯田橋~

(2) 公園の配置と利用しやすい範囲

大きな公園(2,500㎡以上)の配置は、地域間で偏りがみられます。

和泉橋地域では、小規模公園(500㎡未満)が多くなっています。(P15)

子どもの遊び場事業とは

子どもの遊び場事業とは、子ども達を見守るプレーリーダーが、遊びの手伝いや道具の貸出しを行い、時間・場所を限定してボール遊びが行えるなど、自由に楽しく遊べるようにする事業です。



芳林公園での実施風景

千代田区立公園等 できることマップ



富士見二丁目広場
9時～17時まで
(4～9月は19時まで)
※令和7年廃止予定

飯田橋三丁目広場
9時～17時まで
(4～9月は19時まで)

芳林公園
ボール遊び(日)10時～12時

和泉公園
ボール遊び(木)15時～17時
(土)14時～16時

ふじみこどもひろば(乳幼児広場)
乳幼児のみ
(土日祝)9時～17時まで

外濠公園
総合グラウンド内芝生広場
ボール遊び(水)14時～16時

飯田橋 富士見地域

小川広場
ボール遊び(日)14時半～16時半

神田公園地域

和泉橋地域

旧九段中学校校庭・体育館
毎日9時～17時まで
(詳細はHP参照)

神田児童公園
ボール遊び(火)14時～16時

東郷元帥記念公園(下段部)
ボール遊びについて
新しいルールで運用を実施

旧今川中学校
ボール遊び(日)14時～16時

東京中華学校
ボール遊び(日)14時～16時

麹町・番町地域

旧永田町小学校
ボール遊び(日)10時～12時

**大手町・丸の内
有楽町・永田町地域**

- 凡例
- 【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

マーク凡例

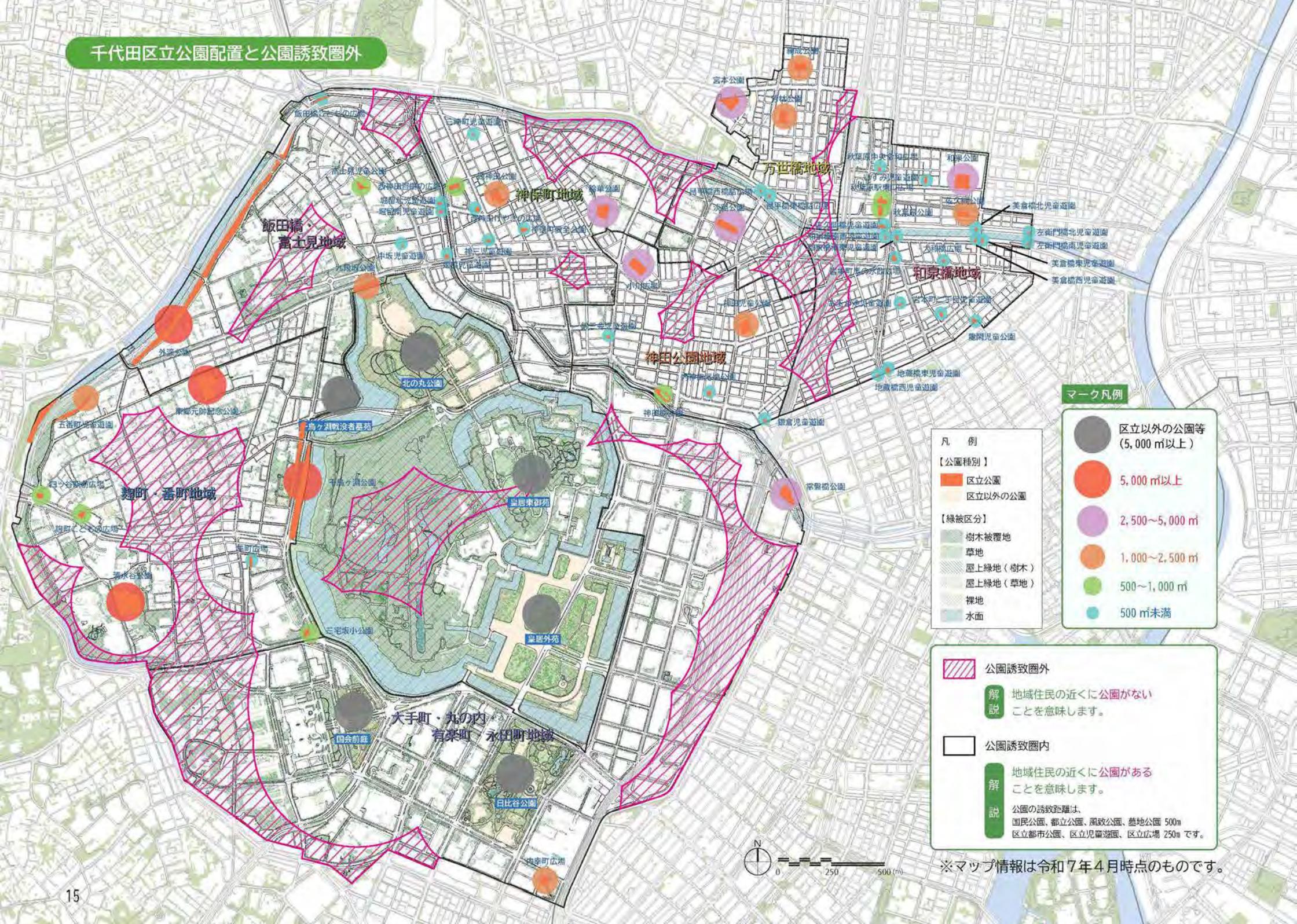
- 遊具の設置数
- 複合遊具のある公園位置
- 公園位置
- 公園以外の遊び場事業実施位置
- その他の広場

アイコン凡例

- すべり台
- ブランコ
- 砂場
- 鉄棒
- 回転遊具
- スイング遊具
- ジャングルジム
- ネット遊具
- 家型遊具
- 健康遊具
- 水景施設(水遊び可)
- 運動施設
- ドッグラン
- 複合遊具
- トイレ

※マップ情報は令和7年4月時点のものです。

千代田区立公園配置と公園誘致圏外



マーク凡例

- 区立以外の公園等 (5,000㎡以上)
- 5,000㎡以上
- 2,500~5,000㎡
- 1,000~2,500㎡
- 500~1,000㎡
- 500㎡未満

凡例

【公園種別】

- 区立公園
- 区立以外の公園

【緑被区分】

- 樹木被覆地
- 草地
- 屋上緑地(樹木)
- 屋上緑地(草地)
- 裸地
- 水面

公園誘致圏外

解説 地域住民の近くに公園がないことを意味します。

公園誘致圏内

解説 地域住民の近くに公園があることを意味します。
公園の誘致距離は、国民公園、都立公園、風致公園、墓地公園 500m、区立都市公園、区立児童遊園、区立広場 250m です。



※マップ情報は令和7年4月時点のものです。

4. 公園施設の整備状況

(1) 遊戯施設

ブランコ・すべり台・砂場など子ども向けの遊具が設置されている公園は、全体の3割程度(18公園)です。

健康遊具は、1割弱(5公園)です。

次世代を担う子どもの目線を大切にしたい取り組みの推進や高齢者・障がい者なども楽しめるように活用していくことが考えられます。

公園面積	公園数	遊戯施設	
		子ども向けの遊具	健康遊具
500㎡未満	32	5	1
500~1,000㎡未満	8	2	0
1,000~2,500㎡未満	8	5	1
2,500~5,000㎡未満	6	3	1
5,000㎡以上	4	3	2
合計	58	18	5



千鳥ヶ淵公園のブランコ



西神田公園の健康遊具

(2) 運動施設

運動施設は、外濠総合グラウンド(野球場・サッカー場・テニスコート)と、小川広場(フットサルコート)の計2箇所のみで、原則予約が必要です。

現状では、公園内で自由にボール遊びができないので、場所の確保が課題です。

したがって、ボール遊びが可能な場所を創出することも、利用者の満足度向上と機能強化に必要と考えられます。



外濠公園総合グラウンド 野球場・サッカー場



外濠公園総合グラウンド テニスコート



小川広場 フットサルコート

(3) 水飲み・トイレ(便益施設)

水飲みは、22箇所の公園に整備されています。トイレは、24箇所の公園に整備されており、すべてバリアフリートイレです。清潔な状況を保つことが重要です。



バリアフリー対応の水飲み場/東郷元帥記念公園



バリアフリー対応のトイレ/九段坂公園

公園面積(m ²)	公園数	便益施設	
		水飲み	トイレ
500m ² 未満	32	7	6
500~1,000m ² 未満	8	2	3
1,000~2,500m ² 未満	8	6	6
2,500~5,000m ² 未満	6	4	5
5,000m ² 以上	4	3	4
合計	58	22	24

表 便益施設の数

(4) ベンチ・スツール(休憩施設)

ベンチやスツールは44箇所の公園に整備されており、休憩や読書など様々な用途で活用されます。

シェルター(日除け)などを組み合わせることで、居心地のよい場づくりが重要です。



単独で設置されているスツール/錦華公園



シェルターと一緒に設置されているベンチ/東郷元帥記念公園



砂場・芝生広場と一体になったベンチ/錦華公園

公園面積(m ²)	公園数	休憩施設		
		ベンチ・スツールなど	野外卓	四阿
500m ² 未満	32	23	1	0
500~1,000m ² 未満	8	3	0	0
1,000~2,500m ² 未満	8	8	0	1
2,500~5,000m ² 未満	6	6	0	0
5,000m ² 以上	4	4	1	0
合計	58	44	2	1

表 休憩施設の数

Chapter 2 CURRENT SITUATION OF PARK



5. 公園の機能

公園の機能について、以下の①②のように分類しました。



②公園ごとに特色がでる機能



歴史資源機能



地域の歴史を継承する空間

- ・震災復興小公園
- ・神社仏閣に隣接する
- ・歴史的な銅像などがある



シンボル機能



地域のシンボル

- ・日常的に多くの方が利用
- ・地形や立地に特色がある
- ・小学校などと隣接



コミュニティ形成機能

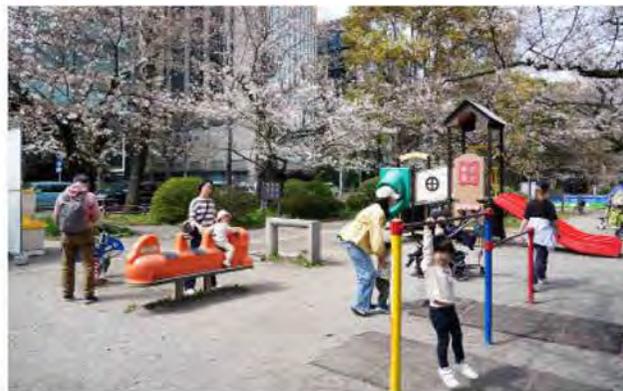


地域の交流の場となり
コミュニティを醸成する

- ・祭りやイベントなどに利用



運動・遊び場機能



子どもの健全な育成や
健康寿命の延伸に寄与する

- ・子ども向け遊具や健康遊具がある
- ・体操、遊びなどができる空間



先駆的活用機能



住民のやりたいことを実現し、
地域の活性化を図る

- ・花火、ボール遊び、
スケートパーク、ドッグランなど

6. 公園の利用状況

(1) 公園利用調査の概要

公園利用のニーズや課題を把握するため、右記の調査を行いました。



図 調査対象

①区民無作為アンケート調査

- ・配布総数：2,000人、うち回答数860人(回収率43%)
- ・調査対象：千代田区民(住民基本台帳から16歳以上を無作為抽出)

②小学校児童(保護者)及び中学校生徒、幼稚園・保育施設の保護者、各施設の職員関係者アンケート

- ・配布総数：19,324人、うち回答数6,715人(回収率34%)
- ・調査対象：幼稚園、保育園、小学校、学童クラブ、中学校、福祉施設

③カウント調査

- ・調査期間：令和4年10月3日～17日
平日・休日の2日間
- ・調査時間：午前9時～午後6時
- ・利用者数：平日118,236人、休日108,675人

④ヒアリング調査

- ・ヒアリング数：平日1,082人、休日1,261人

⑤Webアンケート調査

- ・調査対象：公園を利用しない方
- ・回答数：520人

⑥街頭インタビュー調査

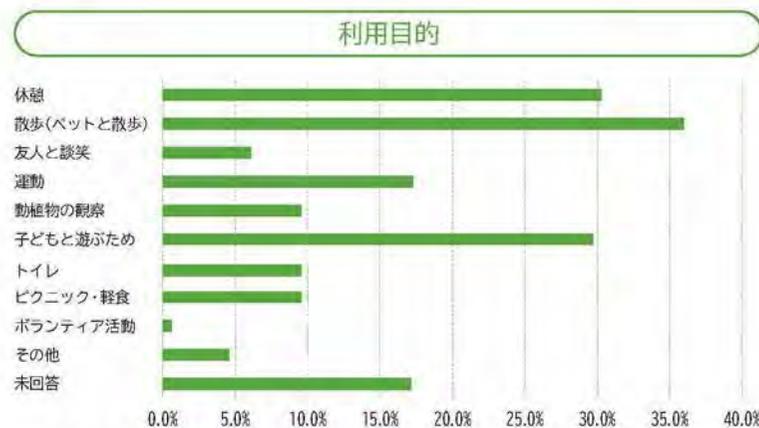
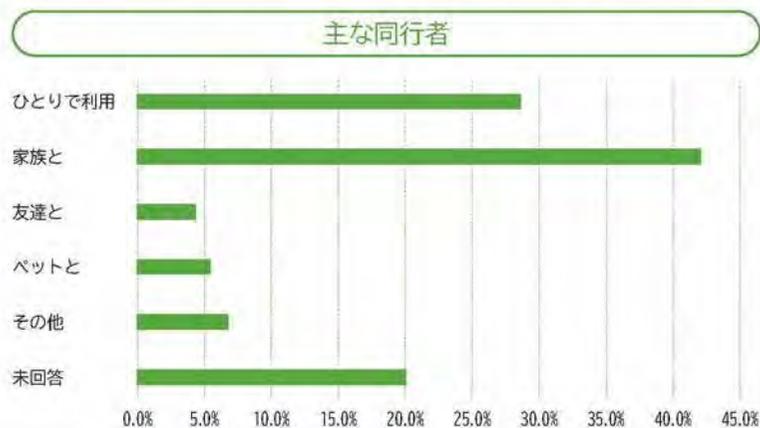
- ・調査対象：公園を利用しない方
- ・回答数：611人

【主な調査項目】

- ・基本情報(年齢、居住地)
- ・公園の利用頻度、利用目的
- ・公園の広さ、遊具の種類、数
- ・遊びの内容、どんな遊びをして欲しいか
- ・よく行く公園、求める施設、再整備の際に考慮して欲しいこと

(2) 公園の利用状況(区民無作為アンケート調査・カウント調査より)

- ・公園を利用している(週に数回、月に1・2回)と回答した方は、約63%でした。(巻末資料参照)
- ・主な同行者は「家族と」が約42%と最も多く、次いで「ひとりで利用」でした。
- ・利用目的は「散歩(ペットと散歩)」が約36%と最も多く、次いで「休憩」、「子どもと遊ぶため」でした。



- ・利用頻度の多い公園は、千鳥ヶ淵公園と東郷元帥記念公園でした。(巻末資料参照)
- ・面積が小さくても利用者の多い公園(龍閑児童公園)もありました。
- ・面積が大きくても利用者の少ない公園(内幸町広場)もありました。

利用者が多い公園

1) 面積が大きく利用者也多い



東郷元帥記念公園 (7,119.43㎡ 平日2206人 休日929人)

2) 面積は小さいが利用者が多い



龍閑児童公園 (261.61㎡ 平日458人 休日270人)

利用者が少ない公園

3) 面積は大きいが利用者が少ない



内幸町広場 (1,357.28㎡ 平日31人 休日32人)

4) 面積が小さく利用者也少ない



中坂児童遊園 (87.92㎡ 平日12人 休日0人)

(3) 公園の満足度について(区民無作為アンケート調査より)

- ・利用頻度の多い公園に対して「不満がある・どちらでもない」が約64%でした。
- ・遊具の充実度については、「不満がある・どちらでもない」が約80%でした。豊富な遊具へのニーズが高いと言えます。
- ・ベンチなどの充実度については、「不満がある・どちらでもない」が約69%でした。

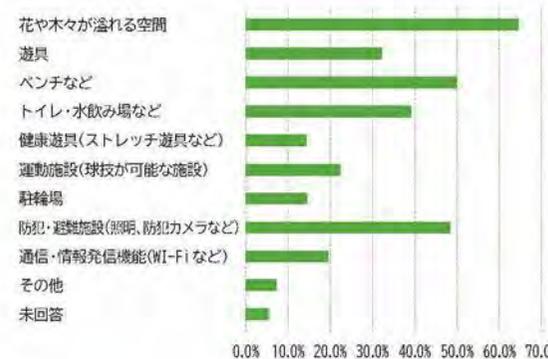


(4) 身近な公園に求めることについて(区民無作為アンケート調査より)

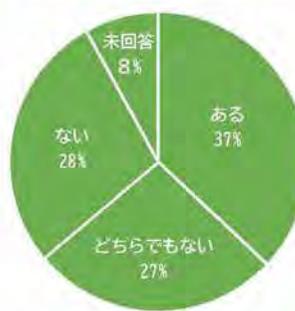
- ・身近な公園に求める施設については、「花や木々が溢れる空間」が約64%と最も多く、次いで「ベンチなど」、「防犯・避難施設(照明、防犯カメラなど)」でした。
- ・再整備する場合に考慮して欲しいことについては、「利用者の意見を聞いた整備をして欲しい」が最も多い結果となりました。(巻末資料参照)



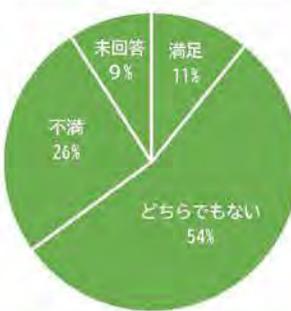
身近な公園に求める施設



公園への不満



遊具の充実度



ベンチなどの充実度



清水谷公園
/木々や草花、水辺空間など自然環境が充実

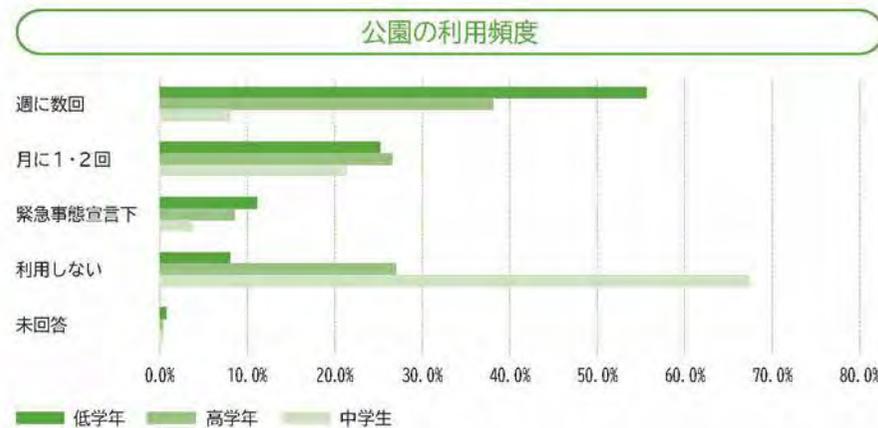


九段坂公園
/眺望の良い場所に設置されたベンチ

(5) 子どもの目線による魅力ある公園づくり

(小中学生へのアンケート調査より)

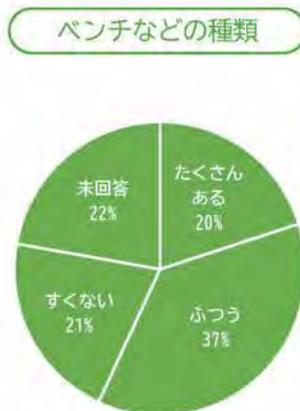
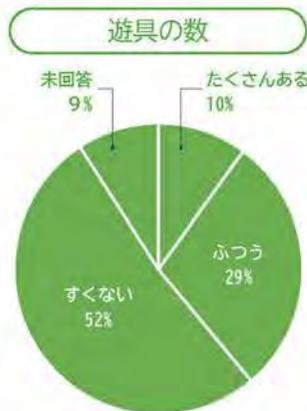
- ・小学校低学年の公園の利用頻度は、「週に数回、月に1・2回」が約81%です。
- ・小学校高学年の公園の利用頻度は、「週に数回、月に1・2回」が約65%です。
- ・中学生の公園の利用頻度は、「週に数回、月に1・2回」が約29%です。
- ・よく行く公園には、「東郷元帥記念公園」、「和泉公園」、「神田児童公園」など小学校と隣接し、広場や複合遊具などの遊び場機能を有している公園が挙げられました。(巻末資料参照)
- ・公園の利用目的は、「遊び」が最も多く、次いで「運動」、「友達とのお話」でした。(巻末資料参照)



遊具で遊ぶ親子と木陰でお喋りする人々

(6) 子どもの公園の満足度 (小中学生へのアンケート調査より)

- ・遊具の種類や数については、「ふつう・すくない」が約80%です。豊富な遊具へのニーズが高いと言えます。
- ・ベンチなどの種類については、「ふつう・すくない」が約58%でした。



主な自由意見

麴町・番町地域

遊具が少ないし、ふれあえる木々や岩や丘もなく、みんなで考えて遊んだりかくれんぼをしたり、楽しく過ごせません。

なにも遊具がない公園が多すぎるし公園に対する不満が沢山ある。

公園のトイレはこわくて使いにくい。

ボールや花火が出来る公園がないから作って欲しい。



神田公園地域

いろんな遊びができる公園や広場があるといいなと思います。ボール遊びやかっこ、鬼ごっこ、遊具など

スケーターで思い切り遊べる広場が欲しい。神田駅の近くに遊具がいっぱいある公園が欲しい。

野球の素振りやキャッチボールが出来ない。遊具が少ない。

ブランコやターザンロープが欲しい。滑り台を長く急にして欲しい。

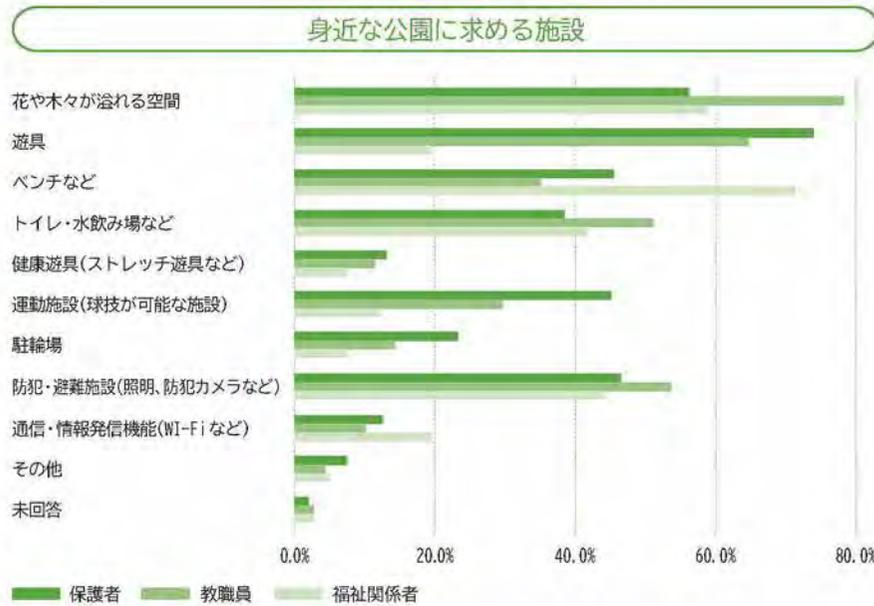
遊んでもいい自然を増やして欲しい！また、広いほうがいい。



(7)身近な公園にあったらいいなと思う機能や施設（保護者・教職員・福祉関係者へのアンケート調査より）

・身近な公園に求める施設は、保護者では、「遊具」が約74%と最も多く、次いで「花や木々が溢れる空間」でした。教職員では、「花や木々が溢れる空間」が約78%と最も多く、次いで「遊具」でした。福祉関係者では、「ベンチなど」が約71%と最も多く、次いで「花や木々が溢れる空間」でした。

・子どもにどんな遊びや学びをして欲しいかについては、保護者は「遊具での遊び」が約50%と最も多く、次いで「ボールを使った遊び」でした。教職員は「水遊びなど自然とふれあう遊び」が約53%と最も多く、次いで「遊具での遊び」でした。(巻末資料参照)



錦華公園 (遊具・木陰のベンチ)



東郷元帥記念公園 (水遊びなど自然とふれあう遊び)

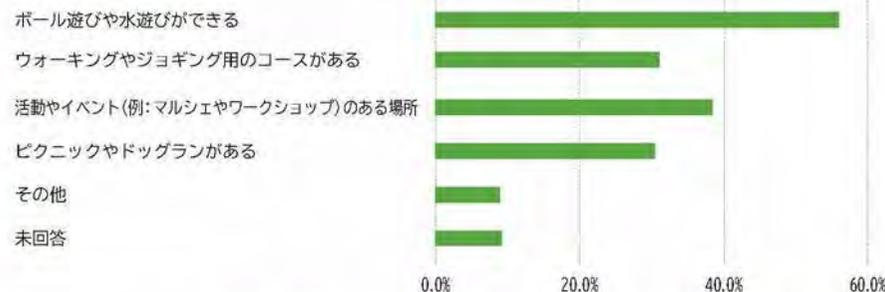
(8) 公園を利用しない人からみた公園の魅力

アップ案(webアンケート調査、
街頭インタビュー調査より)

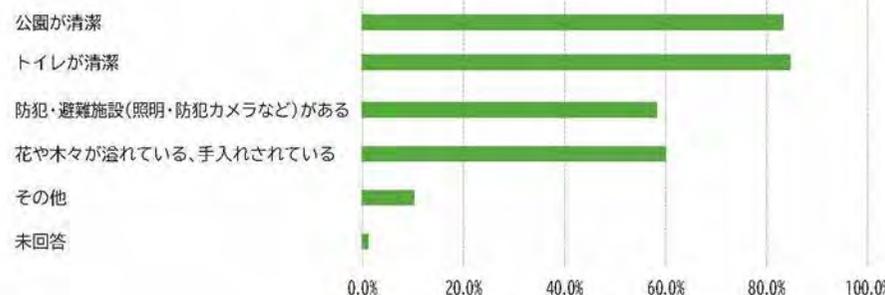
- ・公園を利用しない理由は、「忙しいので行けない」が最も多く、次いで「魅力のある公園がない」でした。(巻末資料参照)
- ・「アクティビティに関する魅力向上のための整備」については、「ボール遊びや水遊び」が約56%と最も多く、次いで「活動やイベント(マルシェやワークショップ)」でした。
- ・「環境・管理に関する魅力向上のための整備」については、「トイレが清潔」が約84%と最も多く、次いで「公園が清潔」でした。



アクティビティに関する魅力向上のための整備



環境・管理に関する魅力向上のための整備



神田児童公園 (水遊びの様子)



東郷元帥記念公園 (イベントの様子)

7. 地域ごとの特徴

公園の現状からそれぞれの特徴を示します。



神保町地域

【特徴】

- ・古書店街、スポーツ用品店街など、個性ある界隈が存在する。
- ・錦華公園がリニューアルされた。

飯田橋・富士見地域

- ・落ち着いた環境。
- ・外濠公園などの歴史的資源が多数存在。
- ・北の丸公園など身近に緑がある。

麹町・番町地域

- ・区内で最も多くの人が住む。
- ・ファミリー層や高齢者の割合が増加傾向。

大手町・丸の内・有楽町・永田町地域

- ・世界有数のビジネス拠点。
- ・土地の高度利用が進んでいる。

神田公園地域

- ・出世不動尊や佐竹稲荷神社などの歴史的資源が多数存在。
- ・昔ながらの下町らしさと新しい文化が感じられる。

万世橋地域

- ・神田明神やニコライ堂などの歴史的資源が多数存在。
- ・区内で最も多くの外国人観光客が来訪。
- ・公園と隣接地の連担性がある。

和泉橋地域

- ・繊維街としての面影が感じられる。
- ・区内で最も人口の増加率が高い地域。

神田公園地域

- ・出世不動尊や佐竹稲荷神社などの歴史的資源が多数存在。
- ・昔ながらの下町らしさと新しい文化が感じられる。

大手町・丸の内・有楽町・永田町地域

- ・世界有数のビジネス拠点。
- ・土地の高度利用が進んでいる。



マーク凡例

凡例	
	区立公園
【緑被区分】	
	樹木被覆地
	草地
	屋上緑地(樹木)
	屋上緑地(草地)
	裸地
	水面

	5,000㎡以上
	2,500~5,000㎡
	1,000~2,500㎡
	500~1,000㎡
	500㎡未満

※マップ情報は令和7年4月時点のものです。

8. 公園をより良くするための4つの視点

公園をより良くするため、これまでに現状分析した結果から4つの視点に整理します。

視点

1

多様化する区民ニーズの実現

- ・遊具の種類や数、ボール遊びや花火などのニーズがあります。
- ・祭事などイベント利用のニーズがあります。
- ・多様な区民ニーズを捉えながら、柔軟な運用に向けた公園づくりが重要です。

視点

2

ポテンシャルの有効活用

- ・江戸の文化と近代の機能が融合し、都心の風格と心地よい環境を継承しています。
- ・魅力ある公園を将来に引き継ぐため、伝統文化の発信に加え、環境の保全に配慮した整備が重要です。
- ・利用者が場所や時間によって変化することと、昼間人口比率が高いことを踏まえた公園づくりが重要です。

視点

3

すべての人が使いやすい公園

- ・少子高齢化や多国籍化が進む中、千代田区の人口は増加しています。
- ・遊具の種類や数について「満足」を増やせる余地があります。
- ・高齢者や障がい者が使いやすい公園への改善が必要です。

視点

4

様々な主体との連携

- ・地域住民、民間企業などとの緊密な連携が公園づくりの重要なテーマとなっています。
- ・地域住民と使い方を話し合い、安全で快適な公園づくりを推進することが重要です。
- ・一人あたりの公園面積が少ないため、公開空地などとの連携が重要です。



点在する歴史資源



充実した遊具



アダプトシステムによる草花の管理

コラム 「すべての人が使いやすい公園」とは・・・

昨今の公園整備では、「インクルーシブ遊具」に代表されるように「インクルーシブ」な公園づくりが求められています。

千代田区の公園づくりにおけるインクルーシブとは、「様々な利用者に寄り添う」という意味を持っています。利用者とは、子ども、高齢者、障がい者を含むすべての人が対象です。インクルーシブ遊具の導入をはじめとし、園路に段差のない整備や手すりの設置など様々な手法が考えられます。

千代田区では、公園を利用する方の多様性を尊重し、様々な状況を持つ人々のニーズに応え、積極的に区民の声を取り入れながら「すべての人が使いやすい公園」づくりを目指します。



Chapter 2 CURRENT SITUATION OF PARK



VISION FOR PARK DEVELOPMENT

